

令和 07 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当初)	
設 計 書 番 号	年度 07
(工 事 ・ 業 務) 名	浚渫等委託
(工 事 ・ 業 務) 箇所	相模原市中央区上溝ほか地内
(河 川 ・ 路 線 ・ 区 域) 名	準用河川鳩川
単 価 採 用 地 区 名	相模原
事 業 区 分	単費
工 期	契約日から 令和 08 年 03 月 02 日 まで
設 計 金 額	(円) 円
設 計 概 要	委託延長 L=466.0m 土工 一式 除草工 一式 樹木伐採工 一式 仮設工 一式 【概数設計】
(起 工 ・ 変 更) 理由	

令和 07 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)						
<支出科目>						
款						
項						
目						
目の細目						
節						
<合併区分情報>						
合併処理設定	しない					
	区 分 1					
	区 分 2					
	区 分 3					
	区 分 4					
	区 分 5					
	区 分 6					
	区 分 7					
	区 分 8					
	区 分 9					
<全体金額情報>						
	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1) 前回変更請負額(b2)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

令和 07 年度 積 算 諸 条 件 調 書 (当初)					
経費等情報	主たる工種		河川工事		
	施工地域・工事場所区分		一般交通影響有(2)		
	現場環境改善費計上区分		計上しない		
	緊急工事による補正		補正しない		
	前払金支出割合		補正しない		
	契約保証の方法		金銭的保証		
	間接工事費率補正（上記「施工地域・工事場所区分」、「契約保証」以外で補正がある場合）				
	共通仮設費率補正		0.00%		
	現場管理費率補正		0.00%		
	一般管理費率補正		0.00%		
	間接労務費・工場管理費計上区分		計上しない		
	土木工事標準積算基準書 適用年版		令和07年7月1日適用		
	土木工事資材等単価表 適用年版		令和07年7月1日基準		
	週休割増補正区分		補正しない		
	ICT施工補正区分		補正しない		
	積算数量等情報	名称		採用数量	単位
交通誘導警備員B		77	人日	昼間	
(その他情報欄)					

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費							
浚渫(河川)				式			
			1				
土工				式			
			1				
土工				式			第 0001 号 内訳書
			1				
除草工				式			
			1				
除草工				式			第 0002 号 内訳書
			1				
樹木伐採工				式			
			1				
樹木伐採工				式			第 0003 号 内訳書
			1				
仮設工				式			
			1				
交通管理工				式			第 0004 号 内訳書
			1				
直接工事費計				式			
			1				
共通仮設費計				式			
			1				
準備費				式			第 0915 号 内訳書
			1				

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
技術管理費				式			第 0940 号 内訳書
			1				
共通仮設費（率分）				式			【千円止】
			1				
純工事費				式			
			1				
現場管理費				式			【千円止】
			1				
工事原価				式			
			1				
一般管理費等				式			
			1				
工事価格				式			【万円止】
			1				
消費税及び地方消費税相当額				式			10.00%
			1				
本工事費計				式			
			1				

第0001号 内訳書
土工

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 掘削		式			第0001号下内
	1				
(AMA0020) 積込 (ルーズ)		式			第0002号下内
	1				
(AMA0030) 土砂等運搬		式			第0003号下内
	1				
(AMA0040) 積込 (ルーズ)		式			第0004号下内
	1				
(AMA0050) 土砂等運搬		式			第0005号下内
	1				
(AMA0060) 残土等処分		式			第0006号下内
	1				
合 計					

第0002号 内訳書
除草工

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0070) 除草		式			第0007号下内
	1				
合 計					

第0003号 内訳書
樹木伐採工

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0080) 枯木処理 (人力伐採)		式			第0008号下内
	1				
合 計					

第0004号 内訳書
交通管理工

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0110) 交通誘導警備員		式			第0009号下内
	1				
合 計					

第0915号 内訳書
準備費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0100) 土質試験費		式			第0010号下内
	1				
(AMA0120) UCR基本料金		式			第0011号下内
	1				
合 計					

第0940号 内訳書
技術管理費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0090) 土質試験費		式			第0012号下内
	1				
合 計					

第0001号 下位内訳書
AMA0010 掘削

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB210100) 掘削		m3			第0001号単価表
	405				概数、第1工区
(SJ0050) 不整地運搬工 4t積、80m～100m未満		m3			第0002号単価表
	405				概数、第1工区
(CB210100) 掘削		m3			第0001号単価表
	602				概数、第2工区
(SJ0060) 不整地運搬工 4t積、280m～350m未満		m3			第0003号単価表
	602				概数、第2工区
合 計					
		式			円／式
	1				

第0002号 下位内訳書
AMA0020 積込（ルーズ）

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB210020) 積込（ルーズ）		m3			第0004号単価表
	1,007				概数
合 計					
		式			円／式
	1				

第0003号 下位内訳書
AMA0030 土砂等運搬

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB210110) 土砂等運搬		m3			第0005号単価表
	1,007				概数
合 計					
		式			円／式
	1				

第0004号 下位内訳書
AMA0040 積込（ルーズ）

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0010) 篩い分け BH0.8m3、スケルトンバケット(100×150mm)		m3			概数
	1,007				
(TJ0080) 根除去・積込運搬工 人力除去・積込 運搬距離1.0km以下		m3			概数
	110				
(CB210020) 積込（ルーズ）		m3			第0006号単価表
	627				概数
(CB210020) 積込（ルーズ）		m3			第0007号単価表
	269				概数
合 計					
		式			円／式
	1				

第0005号 下位内訳書
AMA0050 土砂等運搬

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB210110) 土砂等運搬		m3			第0008号単価表
	627				土砂、概数
(CB210110) 土砂等運搬		m3			第0009号単価表
	269				玉石、概数
合 計					
		式			円／式
	1				

第0006号 下位内訳書
AMA0060 残土等処分

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0020) 玉石処分費 最大粒径300mm内外		m3			概数
	269				
(TJ0070) 根処分費		10kg			概数
	463				
(UWA001000700) 建設発生土処理料 受入料金 指定処分 UCR厚木		m3			概数
	627				
合 計					
		式			円／式
	1				

第0007号 下位内訳書
AMA0070 除草

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 除草工 橋梁間距離300m未満					第0010号単価表
	1,088	m2			第1工区、概数
(SJ0010) 除草工 橋梁間距離300m未満					第0010号単価表
	2,030	m2			第2工区、概数
(TJ0060) 刈草処分費					
	717	10kg			概数
合 計					
	1	式			円／式

第0008号 下位内訳書
AMA0080 枯木処理（人力伐採）

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0040) 枯木処理（人力伐採） 幹周：20cm未満					第0013号単価表
	5	本			第1工区、概数
(SJ0040) 枯木処理（人力伐採） 幹周：20cm未満					第0013号単価表
	5	本			第2工区、概数
合 計					
	1	式			円／式

第0009号 下位内訳書
AMA0110 交通誘導警備員

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB010212) 交通誘導警備員B		人日			第0016号単価表
合 計					
		式			円／式
	1				

第0010号 下位内訳書
AMA0100 土質試験費

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SD20100) 位置測量		点			第0017号単価表
	20				
(SD20110) 表土試料採取		箇所			第0018号単価表
	20				
合 計					
		式			円／式
	1				

第0011号 下位内訳書
AMA0120 UCR基本料金

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z149042000) UCR基本料金		件			
	1				
合 計					
		式			円／式
	1				

第0012号 下位内訳書
AMA0090 土質試験費

1 式 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z149040200) 土砂検定費（溶出28項目） 1～28項目一括実施（別表－1）		検体			
	4				
(Z149040510) 土砂検定費（含有9項目） 含有量試験1～9項目一斉分析（別表3）		検体			
	4				
合 計					
		式			円／式
	1				

CB210100

適用年版 T0707

条 件 名 称	入 力 值	条 件 值
J01 土質	1	土砂
J02 施工方法	5	上記以外(小規模)
J05 施工数量	7	小規模(標準)

SJ0050

適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0114) 運転手(特殊)		人			
	1				
(TJ0100) クローラー型・ダンプ式・積載4t		日			
	1				
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)		式			
	1				
合 計					
		m3			整数止め切捨て 円／m3
	1				

第0003号 単価表
 SJ0060 不整地運搬工
 4t積、280m～350m未満

5 m3 当り
 適用年版 T0707
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0114) 運転手(特殊)		人			
	1				
(TJ0100) クローラー型・ダンプ式・積載4t		日			
	1				
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)		式			
	1				
合 計					
		m3			整数止め切捨て 円／m3
	1				

第0004号 単価表 機労材構成比情報
 CB210020 積込(ルース)

1 m3 当り
 適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3			【損料】		M000202015
	M000202015				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
		当り			
	1 m3			円／m3	
条 件 名 称					

第0005号 単価表 機労材構成比情報
CB210110 土砂等運搬

1 m3 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級			【損料】		M000301002
	MP03010020				
運転手(一般)					R0115
	R0115				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3		当り		
条 件 名 称					
J01 土砂等発生現場	入 力 値		条 件 値		
J01 土砂等発生現場	2		小規模		
J02 積込機種・規格	5		バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3)		
J03 土質	1		土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
J04 DID区間の有無	2		有り		
J14 運搬距離(km)(DID区間有)	4		2.0km以下		

第0006号 単価表 機労材構成比情報
CB210020 積込(ルース)

1 m3 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
バックホウ(クローラ型) [標準型]			【損料】		M000202142
排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3	M000202142				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値					
J01 土質		1	土砂		
J02 作業内容		1	土量50,000m3未満		

第0007号 単価表 機労材構成比情報
CB210020 積込(ルース)

1 m3 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
バックホウ(クローラ型) [標準型]			【損料】		M000202142
排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3	M000202142				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値					
J01 土質		2	岩塊・玉石		
J02 作業内容		1	土量50,000m3未満		

第0008号 単価表 機労材構成比情報
CB210110 土砂等運搬

1 m3 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明細情報	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級			【損料】		M000301005
	MP03010050				
運転手(一般)					R0115
	R0115				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3		当り		
条 件 名 称					
J01 土砂等発生現場	入 力 値		条 件 値		
J01 土砂等発生現場	1		標準		
J02 積込機種・規格	1		バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)		
J03 土質	1		土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
J04 DID区間の有無	2		有り		
J06 運搬距離(km)(DID区間有)	14		19.5km以下		

第0009号 単価表 機労材構成比情報
CB210110 土砂等運搬

1 m3 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級			【損料】		M000301005
	MP03010050				
運転手(一般)					R0115
	R0115				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 m3		当り		
条 件 名 称					
J01 土砂等発生現場	入 力 値		条 件 値		
J01 土砂等発生現場	1		標準		
J02 積込機種・規格	1		バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)		
J03 土質	1		土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
J04 DID区間の有無	2		有り		
J06 運搬距離(km)(DID区間有)	13		14.0km以下		

第0010号 単価表
 SJ0010 除草工
 橋梁間距離300m未満

1 m2 当り
 適用年版 T0707
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0030) 河床機械除草【肩掛式】	1	m2			
(TJ0040) 河床集草 【橋梁間距離：300m未満】	1	m2			
(CB320040) 積込・荷卸	1	m2			第0011号単価表
(CB320050) 運搬(堤防除草)	1	m2			第0012号単価表
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円／m2

第0011号 単価表 機労材構成比情報
 CB320040 積込・荷卸

1 m2 当り
 適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
普通作業員	R0102				R0102
標準単価		積算単価			
	1 m2	当り		円／m2	
条 件 名 称 入 力 値 条 件 値 J01 機種 1 ダンプトラック 2t積級 梱包無し					

第0012号 単価表 機労材構成比情報
CB320050 運搬(堤防除草)

1 m2 当り
適用年版 T0707

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]			【損料】		M000301001
	2t積級		MP03010010		
運転手(一般)					R0115
			R0115		
軽油					Z006702002
			Z006702002		
標準単価		積算単価			
	1 m2		当り		
条 件 名 称					
J01 運搬機械	入 力 値		条 件 値		
J02 梱包の有無	1		ダンプトラック(オンロード・ディーゼル・2t積)		
J03 DID区間の有無	2		梱包無し		
J07 運搬距離 片道・梱包無・DID区間有	2		有り		
J10 費用の内訳	2		2.5km以下		
	1		全ての費用		

第0013号 単価表
SJ0040 枯木処理(人力伐採)
幹周:20cm未満

10 本 当り
適用年版 T0707
(上段:前 回 下段:今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0090) 枯木処理(人力伐採) 幹周:20cm未満					
	10	本			
(SWB610170) ダンプトラック(2t積級)による運搬 DID区間有、運搬距離9.8km以下					第0014号単価表
	0.05	台			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)					
	1	式			
合 計					
	1	本			整数止め切捨て 円/本

第0014号 単価表

SWB610170

ダンプトラック(2t積級)による運搬
DID区間有、運搬距離9.8km以下

1 台 当り

適用年版 T0707

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(K0302002) トラック[普通型]2t積		時間			第0015号単価表 [1] 0010
	0.7				
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)		式			0020
	1				
合 計					
		台			整数止め切捨て 円／台
	1				

第0015号 単価表
K0302002 トラック[普通型]2t積

1 時間 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0115) 運転手(一般)		人			
(Z006702002) 軽油		L			
(M000302002) トラック[普通型] 2t積		時間	【損料】		
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)		式			
	1				
合 計					
		時間			円／時間
	1				
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値	
J01 機械使用条件コード		0		0	
J02 岩石割増しコード		1		岩石工の割増対象にしない	
J03 機械損耗部品補正		1		普通	
J04 供用日当り運転時間		0		0 時間	
J05 交替制による割増し		1		交替制を適用しない	
J06 異常補正		0		0	
J07 基礎価格補正		1		しない	
J08 輸送補正		1		しない	
J09 運転日当り運転時間		0		0 時間	

第0016号 単価表
WB010212 交通誘導警備員B

1 人日 当り
適用年版 T0707

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0804) 交通誘導警備員B		人			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	人日			円／人日

第0017号 単価表
SD20100 位置測量

50 点 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0603) 測量技師	1.5	人			[1]
(R0605) 測量助手	1.5	人			[1]
(X0260) 材料費 Σ [1] * 0.3	1	式			
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) Σ [1] * 0.2	1	式			
合 計					
	1	点			整数止め切捨て 円／点

第0018号 単価表
SD20110 表土試料採取

15 箇所 当り
適用年版 T0707
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0502) 主任地質調査員		人			[1]
	1				
(R0503) 地質調査員		人			[1]
	1				
(X0260) 材料費 $\Sigma [1] * 0.15$		式			
	1				
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.3$		式			
	1				
合 計					
		箇所			整数止め切捨て 円／箇所
	1				

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TJ0010	篩い分け BH0. 8m3、スケルトンバケット(100 ×150mm)	m3	T0707	1,957	その他施 工単価等	全間接費対 象	
TJ0020	玉石処分費 最大粒径300mm内外	m3	T0707	29,000	仮設材単 価等	処分費対象	
TJ0030	河床機械除草【肩掛式】	m2	T0707	105	その他施 工単価等	全間接費対 象	
TJ0040	河床集草 【橋梁間距離：300m未満】	m2	T0707	159	その他施 工単価等	全間接費対 象	
TJ0060	刈草処分費	10kg	T0707	227	仮設材単 価等	処分費対象	
TJ0070	根処分費	10kg	T0707	227	仮設材単 価等	処分費対象	
TJ0080	根除去・積込運搬工 人力除去・積込 運搬距離1.0km以 下	m3	T0707	31,900	その他施 工単価等	全間接費対 象	
TJ0090	枯木処理（人力伐採） 幹周：20cm未満	本	T0707	2,145	その他施 工単価等	全間接費対 象	
TJ0100	クローラー型・ダンプ式・積載4t	日	T0707	13,250	機械器具 損料	全間接費対 象	

総 量 集 計 表 (参考) [その他施工単価等]

[illegible]

施工パッケージ単価分
総 量 集 計 表 (参考) [労務費]

[illegible]

施工パッケージ単価分
総 量 集 計 表 (参考) [資材単価]

[illegible]

総 量 集 計 表 (参考) [機械器具損料]

相模原市

施 工 パ ッ ケ ー ジ 材 料 集 計 表

単価コード	単価名称	標準単価	材料率(%)	数量	材料分金額	条件情報
CB210100	掘削			1,007		J01=土砂 / J02=上記以外(小規模) / J05=小規模(標準)
CB210020	積込(ル=ス)			1,007		J01=土砂 / J02=小規模(標準)
CB210110	土砂等運搬			1,007		J01=小規模 / J02=バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) / J03=土砂(岩塊・玉石混り土含む) / J04=有り / J14=2.0km以下
CB210020	積込(ル=ス)			627		J01=土砂 / J02=土量50,000m3未満
CB210020	積込(ル=ス)			269		J01=岩塊・玉石 / J02=土量50,000m3未満
CB210110	土砂等運搬			627		J01=標準 / J02=バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) / J03=土砂(岩塊・玉石混り土含む) / J04=有り / J06=19.5km以下
CB210110	土砂等運搬			269		J01=標準 / J02=バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) / J03=土砂(岩塊・玉石混り土含む) / J04=有り / J06=14.0km以下
CB320050	運搬(堤防除草)			3,118		J01=ダンプトラック(オンロード・ディーゼル・2t積) / J02=梱包無し / J03=有り / J07=2.5km以下 / J10=全ての費用
合計						

[illegible]

位置図



縮尺 1:10,000

平面図（第1工区）

S=1:400 (A1)
S=1:800 (A3)

土工 一式 掘削 V=405.7m³
除草工 一式 除草 A=1088.5m²
樹木伐採工 一式 枯木処理(人力伐採)
幹周20cm未満 5本



起点(1) ZN0145+17.0

終点(1) ZN0154+6.0

委託延長L=169.0m

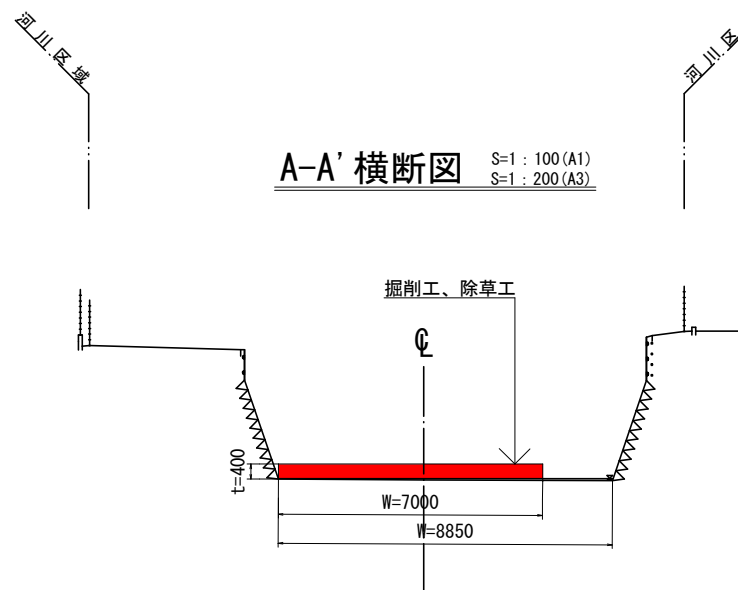
九沢橋

搬出入路（既設）

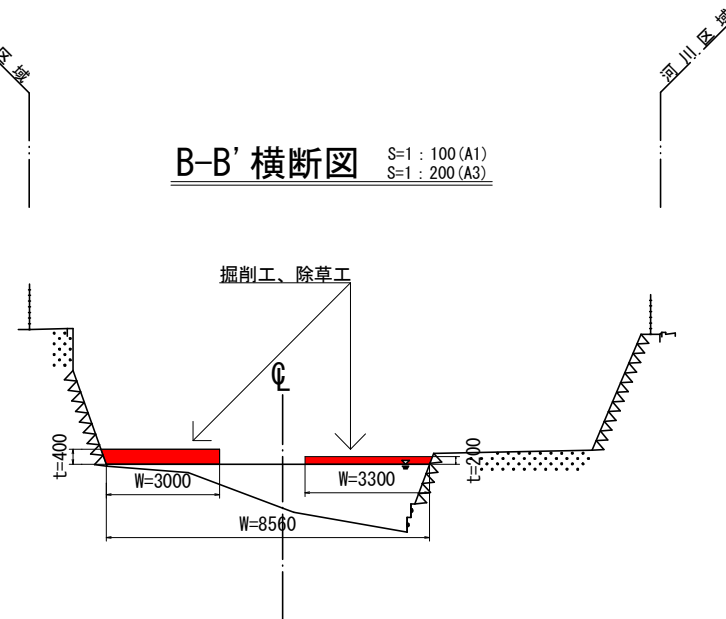
葛輪ふれあい第二橋

※起終点については、現況河床に留意して摺り付けを行うものとする。

A-A' 横断図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



B-B' 横断図 S=1:100 (A1)
S=1:200 (A3)



令和7年度

委託名	浚渫等委託		
業務箇所	相模原市中央区上溝ほか地内		
図面名	平面図（第1工区）、横断図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 2
事業者名	相模原市		

S=1 : 500 (A1)
S=1 : 1000 (A3)

一式
一式
一式

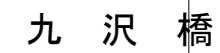
$$V = 602.0 \text{ m}^3$$

除草 $A=2030.0\text{m}^2$

枯木处理(人力伐採)
幹周20cm未満 5本

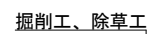


終点 (2) ZN0145+17.0



※起終点については、現況河床に留意して摺り付けを行うものとする。

S=1 : 100 (A1)
S=1 : 200 (A3)

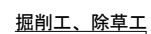


©

W=7000

W=9920

S=1 : 100 (A1)
S=1 : 200 (A3)



©

W=7000

W=9920

委託名	浚渫等委託
-----	-------

業務箇所	相模原市中央区上溝ほか地内
------	---------------

図面名	平面図（第2工区）、横断図
-----	---------------

縮 尺	図 示	図面番号	2 2
-----	-----	------	--------

事業者名	相模原市
------	------

委 託 説 明 書

委 託 名	浚渫等委託
委 託 概 要	委託延長 L=466.0m 土工 1 式 除草工 1 式 樹木伐採工 1 式 仮設工 1 式
<p>○委託内容</p> <p>当該業務箇所は、別紙位置図のとおりである。</p> <p>委託内容は、準用河川鳩川の河床に堆積している土砂の撤去処分、繁茂している樹木の伐採及び除草を行うもの。</p> <p>○配布図書</p> <p>1) 設計図書（契約条件になるもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置図 一式 ・図面 一式 ・委託説明書 一式 ・業務委託仕様書等一覧 一式 ・浚渫等委託仕様書 一式 ・局地的な大雨に対する安全対策共通特記仕様書(河川・水路等) 一式 ・土壌調査に係る特記仕様書 一式 ・概算数量設計特記仕様書 一式 ・相模原市ウィークリースタンス特記仕様書 一式 ・相模原市環境方針 一式 <p>2) 積算参考図書（契約条件にならないもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計積算書（単価抜き） 一式 <p>○搬出入路について</p> <p>第 1、2 工区の搬出入路については、葛輪ふれあい第二橋付近に設置されているものを使用することを想定している。</p>	

業務委託仕様書等一覧

本業務において適用する仕様書等は次のとおりとする。

- 土木工事共通仕様書
- 土木工事共通特記仕様書

※ 各共通仕様書は相模原市ホームページでダウンロードすることができます。

[トップページ\(市政情報\)](#) > [まちづくり・環境](#) > [公共工事の技術・積算](#) > [工事](#)

- 浚渫等委託仕様書
- 局地的な大雨に対する安全対策共通特記仕様書(河川・水路等)
- 土壌調査に係る特記仕様書
- 概算数量設計特記仕様書
- 相模原市ウィークリースタンス特記仕様書
- 相模原市環境方針

令和7年7月

浚渫等委託仕様書

第1章 総 則

1 適用の範囲

本仕様書は、「浚渫等委託」に適用する。

2 一般事項

本仕様書は、業務の実施に必要な事項について定めるものとし、契約書、本仕様書等に明記されていない事項であっても作業の性質上、危険防止措置や作業に必要な業務については、受注者の責において行うものとする。

3 委託業務の内容

- (1) 準用河川鳩川の河床に堆積している土砂の撤去処分、繁茂している樹木の伐採及び除草を行うもの。
- (2) 業務箇所は、相模原市中央区上溝ほか地内とする。
- (3) 工期は、令和8年3月2日（月）までとする。
- (4) 撤去した土砂については、UCR厚木（指定処分場）へ搬出するものとし、土壌溶出量調査を28項目及び含有量調査を9項目行うものとする。なお、土砂の処分については、工事間での利活用を促進するため、企業等から受入希望があった際には、処分量が減少する場合がある。
- (5) 刈草等の処分については、一般廃棄物として、「相模原市一般廃棄物処理施設の設置に関する条例（平成27年7月1日 条例第36号）第2条」に掲げる清掃工場への搬入処分とする。
- (6) 伐採による幹（直径20cm未満のもの）の処分は、㈱タケエイグリーンリサイクル相模原事業所（相模原市緑区根小屋1726-1）へ搬入するものとする。（搬入する際には4m以内に細断すること。）なお、処分費については、相模原市で支払うものとする。
- (7) (5)～(6)以外で処分する場合は、監督員と協議し適正に処分するものとする。
- (8) 受注者は、業務の実施に先立ち、作業計画について監督員と協議を行うこと。
- (9) 公害対策、保安施設の設置等については、相模原市土木工事共通仕様書による。
- (10) 作業にあたって受注者は、事前に周辺住民にお知らせ等を配布し、業務の周知を行うこと。

4 提出書類

本業務は次の書類を提出することとする。

- ・契約書に示す書類
- ・業務計画書 2部（正副）
- ・業務写真（着手前、作業中、作業完了） 1式
- ・電子データ CD-R等一式 2部（正副）

5 数量

本業務は、概算数量で設計している項目があり、設計書の下位内訳書の摘要欄に「概数」と記して示した数量については、「概算数量設計特記仕様書」のとおり取り扱うものとする。

なお、受注者は監督員と現場立会いを行った後、監督員が提示した資料に基づき、現場調査を行う。また、概数として扱っている事項の数量について、監督員と協議するものとする。その際、過大な出来形に対して変更するものではないことに留意すること。

6 環境配慮事項

- (1) 「相模原市環境方針」の趣旨を理解し、方針に沿った業務を行うこと。
- (2) 発注者への提出書類及び添付資料については、原則として再生紙を使用すること。
- (3) 業務実施時（書類提出、納品等）に車両を使用する場合は、アイドリングストップの実施を徹底し、他社に運搬を委託する場合は、アイドリングストップの実施を周知するように努めること。
- (4) 業務実施に伴って発生するごみの減量化・資源化および適正処理に努めること。

7 現場管理

- (1) 受注者は、局地的な大雨に対する安全対策共通特記仕様書（河川・水路等）に則り、作業箇所の上流に水位計又は監視カメラ等を設置し、水位の異常を監視すること。これに要する費用については、協議の上、設計変更の対象とする。
- (2) 受注者は、公衆災害、労働災害及び物損等の未然防止に努め、「労働安全衛生法」及び「建設工事公衆災害防止対策要綱」等の定めるところに従い、その防止に必要な処置を十分に講ずること。
- (3) 作業現場においては、常に危険に対する認識を十分に示して、作業の手違い、受注者の不注意等は厳に戒めること。
- (4) 作業中の不測の事態に備え、受注者は常に保安器具を携帯し、避難対策、応急対策及び連絡体制を完備すること。

- (5) 作業完了時においては、付近を十分に清掃し、通行等に支障のないようにすること。
- (6) 作業を行うにあたり、環境衛生上支障が生じないよう必要な処置を講ずること。
- (7) 受注者は、常に善良な労働者を従事させ、かつ熟練を要する作業には、相当の経験を有する労働者を配置すること。
- (8) 資格を必要とする諸機械を取り扱う場合は、必ず有資格者をあてること。

8 相互協力及び紛争の防止

受注者は、作業実施箇所が他の工事や業務と隣接または、同一場所となった場合においては、常に相互協力し紛争等の防止を図るものとする。

9 損害賠償及び補償

- (1) 受注者は、工作物等に損傷を与えた場合は、直ちに監督員に報告し、速やかに原形に復旧しなければならない。
- (2) 受注者は、作業にあたり万一注意義務を怠ったことにより、第三者に損害を与えたときは、その復旧及び賠償の全責任を負うものとする。

10 検査

検査は、受注者の提出した出来形等に基づいて行うが、万一不完全な箇所があった場合には再度業務を行うものとする。なお、これに要する費用は全て受注者の負担で行わなければならない。

11 疑義事項

本仕様書に明記されていない事項及び業務の実施の細目については、発注者と事前に協議し、その指示に従い実施すること。

局地的な大雨に対する安全対策共通特記仕様書（河川・水路等）

第1 適用

本特記仕様書は、局地的な大雨に対する作業環境の安全性の確保について規定するものであり、河川・水路等、雨水の流入により作業に影響のある工事等※¹に適用する。

※1「工事等」とは、工事のほか浚渫、樹木伐採等のうち、急激な雨水の流入により作業員に危険を及ぼす恐れがある作業をいう。

第2 安全管理計画の施工計画書等への明記

受注者は、局地的な大雨による増水に備えるため、施工計画書を作成する際には、次に掲げる事項を安全管理計画として記載し、その内容について、作業員へ周知徹底を図ること。

- （1）現場特性の事前把握
- （2）作業の中止基準、開始・再開基準及び警戒区域※²の設定
- （3）迅速に退避するための対応
- （4）日々の安全管理の徹底

※2「警戒区域」とは、河川・水路等で従事している作業員が、局地的な大雨による急激な増水に備えて、迅速に退避するための準備行動を取るために、受注者が作業箇所を中心とした一定の範囲内における降雨の状況について警戒を行う区域をいう。

第3 現場特性の事前把握

受注者は、工事等に着手する前に、作業箇所に係る下水道（雨水）の集水範囲や吐き口の位置、地形情報、浸水被害等の既往情報などを収集・分析し、急激な増水による危険性等をあらかじめ十分に把握すること。

第4 作業の中止基準、開始・再開基準及び警戒区域の設定

受注者は、局地的な大雨に対する安全対策として、作業の中止基準、作業の開始・再開基準及び警戒区域を設定すること。この場合においては、次に掲げる事項を踏まえるとともに、退避に要する時間等の現場特性を考慮すること。

- （1）作業の中止基準
 - ①当該作業箇所又は上流部に降雨又は雷が発生した場合
 - ②当該作業箇所又は上流部に洪水又は大雨の注意報・警報が発令された場合
 - ③当該作業箇所又は上流部において、現況水位から急激な水位上昇が確認された場合
- 工事等の中止を行った場合には、発注者に速やかにその旨を連絡すること。

(2) 作業の開始・再開基準

- ①当該作業箇所又は上流部に降雨又は雷が発生していないこと、かつ、洪水又は大雨の注意報・警報が発令されていないこと。
- ②当該作業箇所の水位を計測し、計測した水位が事前の調査に基づく通常水位の範囲内であること。
- ③当該作業箇所の護岸等を点検し、ひび割れや出水等により崩落や崩壊の恐れがないこと。

(3) 警戒区域の設定

警戒区域は、迅速な退避が行えるよう当該作業箇所を中心に原則半径10kmの範囲とし、退避ルート上に支障物が無いかの確認や資機材等の流下防止対策等の警戒作業に要する時間を十分考慮した区域を設定すること。

第5 迅速に退避するための対応

受注者は、作業に着手する前に作業員が安全かつ迅速に退避できるように、あらかじめ次に掲げる事項について定めておくこと。

- (1) 河川・水路等で作業を行っている間は、気象監視員（現場代理人や主任技術者など）を配置するとともに、気象監視員は当日の天気予報や雨雲の動き等の気象情報を収集し、警戒区域内に降雨又は雷の発生情報を確認した場合や中止基準に該当した場合には、その旨を確実に作業員に伝達すること。
- (2) 民間気象会社等がリアルタイムに気象情報を自動配信（プッシュ型配信アプリ等）するサービスを活用し、上流部及び警戒区域においては、降雨又は雷の発生情報を収集できる体制とすること。
- (3) 当該作業箇所の水位変化を監視するとともに、上流部の河川・水路等の水位の変化を把握できるよう当該作業箇所から原則1km上流の箇所等に水位計又は監視カメラ等を設置し、警戒区域内に降雨又は雷の発生情報を確認した場合には水位の異常を監視すること。
- (4) 現場条件、作業員数等を考慮した上で、安全かつ迅速に河川・水路等から退避できるルートを設定すること。また、不測の事態に備え原則複数設定すること。退避方法については、作業に着手する前に実際の作業環境に応じた退避訓練を実施するとともに、退避手順、情報伝達の確実性及び想定している退避時間を実地検証することとし、作業環境を変更する場合も同様に実地検証すること。
- (5) 気象監視員から警戒区域内に降雨又は雷の発生情報を確認した旨の伝達があった場合には、河川・水路等で従事している作業員は退避行動に備え、退避ルート上の支障物が無いかを確認すること。

- (6) 気象監視員から作業の中止の伝達があった場合には、人命を最優先とし、退避行動をとること。
- (7) 急激な増水に備え、現場特性に応じて救助用ロープ等の救命・救助器具を適切な場所に設置すること。また、作業の開始に当たっては救命・救助器具等の設置状況の確認を行うこと。

第6 日々の安全管理の徹底

受注者は、日々の安全管理に当たり、次に掲げる事項について徹底すること。

- (1) 受注者は、安全講習及び気象に関する講習を受講するなど、安全管理に関する知識及び技術を習得し、危機管理意識の向上に努めること。
- (2) 作業当日の朝礼、KYK（危険予知活動）等において、気象情報及び各種リスク情報を作業員全員に共有するとともに、作業の中止基準や退避ルート等の周知徹底を図ること。

附 則

本特記仕様書は、令和7年7月28日から適用する。

土壌調査に係る特記仕様書

本仕様書は、土壌汚染防止法の施行以降、建設発生土の土壌汚染に関する、確認・証明が義務化されてきていることに伴い、土壌調査手法を定めるものである。それにより、建設発生土の適正処分の具現化及び円滑化を図ることを目的とする。

(1) 調査対象

本委託における、河川の土砂を掘削し、搬出する建設発生土を対象とする。

(2) 土壌調査の方法

この調査は、5地点均等混合法により実施するものとする。

ア 土壌採取方法

別紙1を参考に掘削面積900㎡ごとに1回とする。なお、掘削面積が100㎡程度の小規模な場合においては、現場状況を勘案し、5地点均等混合法に変えて1地点のサンプル調査とすることができるものとする。

イ 評価基準及び測定方法

評価基準及び測定方法については、土壌汚染対策法施工規則のとおりとする。

ウ 土壌調査実施機関

土壌調査の実施機関は、法第3条第1項の規定に基づく指定調査機関又は計量法(平成4年法律第51号)第107条の規定により同条第2号に該当する計量証明の事業の登録を受けた事業者とする。

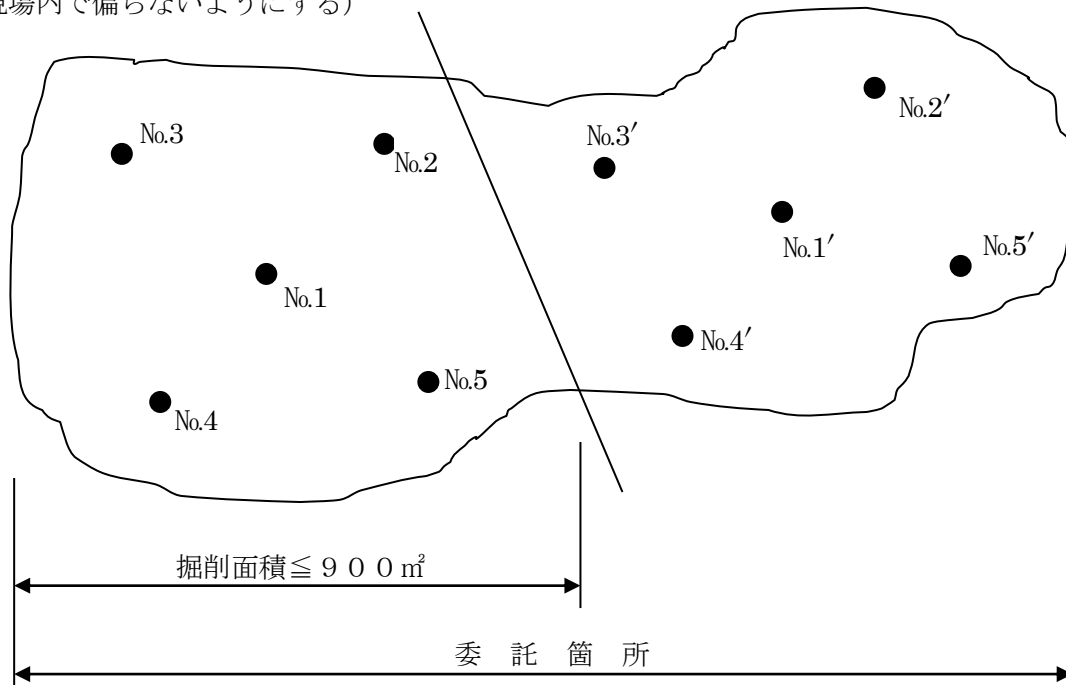
(3) 調査結果の対応

土壌調査実施機関における調査結果は、速やかに監督員に提出するものとする。

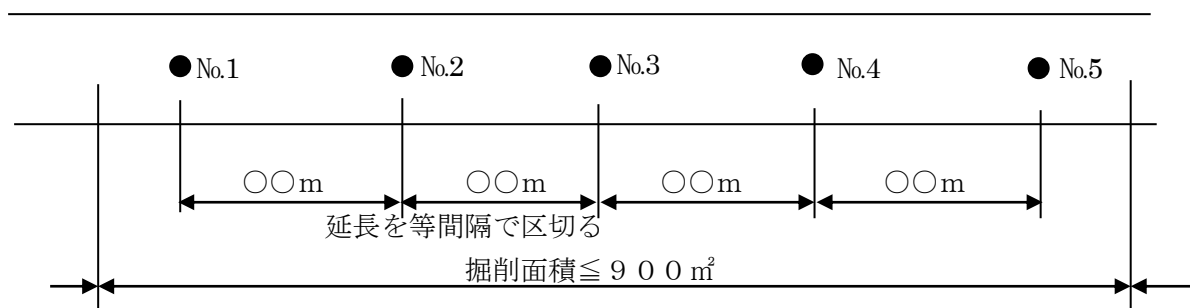
採取方法

(面的な整備の委託の場合)

(現場内で偏らないようにする)



(線的な委託の場合)



試料採取に当たっての注意事項

- 1 各地点の試料採取方法は、土壤汚染対策法施行規則第6条第3項第1号及び第2号に定めるところによるものとする。
- 2 特定有害物質を使用等していた施設の場所が特定できる場合は、土壤汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン改定版(平成24年8月環境省水・大気環境局土壤環境課)第2章「2.3 調査対象地の土壤汚染のおそれの把握」及び「2.4 試料採取等を行う区画の選定」を参照し、土壤汚染のおそれの分類に応じて適切な試料採取を行う。
- 3 写真撮影について、
 - ・採取地点にはポールを立て全体を撮影する。
 - ・採取地点ごとの採取試料、採取穴及び穴の深さが明確になるように撮影する。
 - ・各試料採取後、No.1地点に5地点の試料をまとめ撮影する(5地点均等混合法の場合)。

概算数量設計特記仕様書

- 1 本特記仕様書は、浚渫等委託（以下「本業務」という。）の設計数量のうち、概算数量設計（以下「概数」という。）による設計数量の確定について、必要な事項を定めるものである。
- 2 本業務において、概数で積算したものは「概数として扱う数量一覧」（6項参照）に示すものとし、概数の確定は次項に記した業務計画図書において設計数量として確定するものとする。
- 3 受注者は、監督員と現場立会いを行った後、監督員が提示した資料に基づき、現場調査を行い、業務計画図書（平面図、断面図、数量計算書及び業務計画書等、監督員が指示したもの）を作成し、概数として扱っている事項の数量について、監督員と協議するものとする。
- 4 受注者は、業務計画図書を監督員に提出し、設計数量の確定について承認を受けるものとし、その設計数量に基づき施工・出来形の管理を行うものとする。ただし、本業務着手前に確定数量算出に係る不確定部分がある場合は、不確定部分の一部又は全部が解消した時点で確定するものとする。
- 5 業務計画図書作成に要する費用は共通仮設費の率分の準備費と技術管理費（現場調査、測量等に要する費用）を充当しているため、別途積上げはしないものとする。
- 6 「概数として扱う数量一覧」に示した数量は概数であり、全部又は一部が確定した時点で、必要に応じて設計変更するものとする。
なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。

「概数として扱う数量一覧」

項 目（ 工 種 ）	数 量
土工	設計積算書（単価抜き）の摘要欄に概数と示した数量
除草工	
樹木伐採工	

※項目（工種）欄に記載無き場合は、全工種に示した数量を概数として扱うものとする。

- 7 本業務においては、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び数量の算出）を受注者に行わせることがある。
- 8 受注者は、本業務に関して疑義が生じた場合は、その都度、監督員と協議するものとする。

相模原市ウィークリースタンス特記仕様書

(目的)

第1条 労働時間の上限規制やワークライフバランスの推進などの働き方改革を踏まえ、公共工事及び公共工事に係る委託業務を円滑かつ効率的に進めるために、一週間における受発注者間相互のルールやスタンスなどを目標として定め、計画的に履行することにより労働環境の改善を行い、工事目的物及び成果品の品質確保・向上及び担い手の育成・確保を図る。

(取組の内容)

第2条 発注者は、以下の項目を例として受注者と取り組む内容を確認及び調整の上、設定する。

- (1) 月曜日（休日明け）を依頼の期限日としない
- (2) 水曜日は定時の帰宅に心掛ける
- (3) 土・日曜日に休暇が取れるよう金曜日には依頼しない
- (4) 昼休みや午後5時以降の打合せをしない
- (5) 定時間際、定時後の依頼、打合せをしない
- (6) 16時以降の現地立会を行わない
- (7) 作業内容に見合った作業期間を確保する
- (8) その他、任意に設定する

(運用方法)

第3条 発注者は契約後の初回打合せ時に、前条各号の内容について受注者と取り組む内容を確認し設定する。

2 受注者は前項の規定により設定した内容を施工計画書又は業務計画書に記載する。

附 則

この仕様書は、令和6年7月1日から施行する。

相模原市環境方針

本市は、「相模原市環境基本条例」の基本理念に則り、望ましい環境像「人と自然が共生するまち～市民と築く、地域循環共生都市さがみはら～」を実現するため、事務事業の実施に当たり、以下のとおり、取組目標を設定し、継続的改善を推進します。

- 1 「相模原市環境基本計画」に基づき、環境関連施策を推進し、事務事業の実施に伴う環境負荷の低減を図ります。
- 2 地球温暖化対策や循環型社会の形成などを推進するため、再生可能エネルギー等利用設備の導入、省エネルギー機器の導入、公用車適正利用の推進、ごみの減量化・資源化の推進、資源・エネルギーの有効活用に取り組めます。

令和2年4月1日

相模原市長

【相模原市環境基本条例 基本理念】

- 1 環境の保全及び創造は、市民が健康で安全かつ文化的な生活を営むことのできる自然と調和の取れた豊かな環境を確保し、及び向上させ、並びに将来の世代へ継承していくことを目的として行うものとする。
- 2 環境の保全及び創造は、環境に関する資源の有限性を認識するとともに、その適正な管理及び利用を図り、もって環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会を構築することを目的として行うものとする。
- 3 環境の保全及び創造は、市、事業者及び市民相互の協力の下に行うものとする。
- 4 地球環境保全は、人類共通の課題であるとともに市民の健康で安全かつ文化的な生活を将来にわたって確保する上で極めて重要であることから、積極的に推進するものとする。